

各位

2019年12月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（令和元年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比79.3%と前年を下回り、学生団体は同94.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同86.2%と前年を下回った。企画旅行については前年比102.2%と前年を上回り、個人旅行については同94.7%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比96.3%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比97.3%と前年を下回り、学生団体は同99.1%と前年を下回り、団体旅行合計で同98.5%と前年を下回った。企画旅行については前年比86.5%と前年を下回り、個人旅行については同79.1%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比89.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比111.7%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の10月の総取扱額は前年比93.0%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、前年開催の大型の国際スポーツ大会や大型の観光・親睦旅行などの反動減に加え、職場旅行などの取扱人数の減少により前年比79.3%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行の取扱単価の減少や、研修旅行の取扱人数が減少したことにより、同94.0%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比86.2%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比102.2%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ハワイやヨーロッパ、台湾方面が好調に推移したが、アメリカやオセアニア方面、アジア方面では香港や韓国などが不調であった。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは南欧（イタリア）、東地中海（トルコ）が好調であった。北米、オセアニアも堅調に推移している。一方で、カナダ、中国、アジア（香港、韓国）、東南アジア（ベトナム、カンボジア、タイ）は不調であった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比96.3%と前年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、大型の国際スポーツ大会や国際会議・学会などの取扱が増加したことにより、前年比111.7%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、スポーツイベントやその他大会や会議などの取扱が増加した一方で、台風による豪雨災害の影響を大きく受けた職場旅行や観光・親睦旅行などが減少したことにより、前年比97.3%と前年を下回った。学生団体は、研修旅行などの取扱が増加したが、修学旅行の取扱人数が減少したことにより、同99.1%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比98.5%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比86.5%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、中国方面は堅調に推移したが、台風による甚大な被害を被った関東や甲信越、東北方面などを中心に不調であった。クラブツーリズムは、方面別では、北海道（道東）は堅調に推移することとなったが、台風による多大な影響を受けた東日本方面（東北、関東、甲信越）が苦戦することとなった。また北陸、関西、山陰・山陽、四国、九州、沖縄、離島においても不調であった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比89.6%と前年を下回った。

以上